

こんにちは 黒磯公民館です

班回覧

2023年1月号

1月20日発行

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本公民館の運営に御理解と御協力を賜り誠にありがとうございました。

国内で新型コロナウイルス感染症が初めて確認されてから3年が経過しました。昨年度末には公民館の運営を平常に戻したのも束の間、オミクロン株の流行により感染者が急増し、国内での感染者数は3千万人を超えました。人口のおよそ4分の1が感染した計算になります。感染力の高いオミクロン株の出現により、今では誰もが感染する可能性があり、これまで執られてきた行動制限よりもワクチン接種や基本的な感染対策の徹底が唱えられているところです。

昨年末には2022年の漢字として「戦」が選出されました。この漢字が象徴するように、昨年はロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、安倍元首相銃撃事件、物価高騰による生活への影響など、新型コロナウイルスと同様に多くの方が不安を感じた出来事が多くありました。また、「いちご一会とちぎ国体」の開催や「サッカーワールドカップ」の熱狂など、スポーツでも大きな「戦」が繰り広げられました。

激動の旧年を振り返りながら迎えた新年、令和5年の干支は「兔」です。これまでの兔年を顧みると、国鉄の民営化や地上波デジタル放送への移行など、時代の終わりや始まりを告げる出来事が多く起こっています。しかしながら、兔年である今年も新型コロナウイルス感染症の「終息」は未だ見えない状況です。であれば、コロナと共存した生活様式へと意識を切り替えることが重要だと思います。そうすれば、コロナの「収束（終わり）」と新しい生活様式への「転換（始まり）」を感じることができるのではないのでしょうか。

今年の干支が「兔」であるように、これまでの数年間から大きく飛躍し、私たちの生活が大きく向上する年となるよう期待したいと思います。

皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますことを祈念いたします。

黒磯公民館長 藤田 健司



鍋掛の若松東征さんに手作りの門松を飾っていただきました。新聞にも掲載されていましたが、約40年前から毎年作られているそうです。いきいきふれあいセンターにも毎年飾っていただき、ありがとうございます。





1月4日及び5日に梅田幸枝氏を講師に招き、冬休み子ども教室（書初め）を実施しました。



参加者は2名と小人数でしたが、黒磯公民館長も指導に加わり、ほぼマンツーマン指導により、書初めを仕上げることができました。



12月16日（金）に第6回わかば学級「しめ縄クラフト」を実施しました。細かい作業もありましたが、講師の石井良江氏による丁寧な指導もあり、全員がしめ縄を使った正月飾りを完成させました。



今月の生け花

今月は、ピンクの菊などを中心に、黄色のソリダスターが散りばめられた、生け花を生けていただきました。まるで晴れ着のように華やかな生け花は、新たな年の始まりを祝っているかのようです。



黒磯市 坂本恵美子 先生



1月1日付で国体推進課から伊藤吉之主事が配属となりました。いちご一会とちぎ国体成功の立役者として活躍し、今度は黒磯公民館事業を成功に導くべく、日々業務をこなしています。黒磯公民館窓口から左前方に見えるイケオジが伊藤さんです。これからは、職員5名体制でがんばってまいりますので、地域の皆様、改めてよろしくお願いいたします。

関東北かるた大会中止のお知らせ

2月5日（日）に予定しておりました第66回関東北かるた大会については、新型コロナウイルス等の感染状況を考慮し、中止となりましたのでお知らせいたします。代替事業としまして、栃木県内のかるた会を対象とした交流会（練習会）を開催する予定です。

黒磯公民館 地区内人口

()の数字は前月比

世帯数	男	女	計
2,780世帯	2,750人	2,965人	5,715人
(-13)	(-11)	(-20)	(-31)

黒磯公民館だよりは、市のホームページ内、黒磯公民館だよりのページでも御覧いただけます。

黒磯公民館だより 検索



【発行】黒磯公民館（桜町1-5）

電話：60-1115

FAX：64-3728

メール：ph-kuroiso@city.nasushiobara.lg.jp